

ケーススタディ

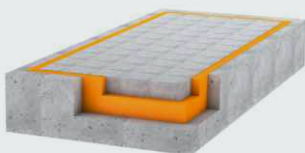
GINZA KABUKIZA 新築工事



» 1889年より続く歴史的な歌舞伎座の建て替え

» 国内最大級の廻り舞台の防振

» 廻り舞台の他、屋上庭園など様々な場所での防振浮床にも採用



getzner
engineering a quiet future

国内最大級(直径18.18m、深さ16.45m)の 廻り舞台の防振

国内最大級の廻り舞台

舞台中央の床を、大きく円形に切って
回転させる「廻り舞台」。

現在では、オペラやミュージカルの
舞台でも、当たり前のように使わ
れている「廻り舞台」ですが、実はその
原型は、世界に先駆けて、江戸時代、大
阪の芝居小屋で取り入れられたといわれ
ています。

今回の建て替え計画では、松・竹・梅の
3種の迫りに、「大迫り」が新設され、よ
り多様でダイナミックな舞台転換が可能
になりました。

新しい歌舞伎座の「廻り舞台」は、ビル5
階分もの高さがあり、傍から見ても大迫
力のスケールです。新しい「廻り舞台（

盆）」の直径は、旧歌舞伎座と同じ60尺
(18.18m)、深さは約16.45mと以前の4
倍近く深くなり、重量は358トンで、国内
最大級の大きさとなります。

静けさの中で歌舞伎を楽しむため
には、廻り舞台が駆動する際の騒音や振
動を劇場内部に伝えないための防振浮
床が必要となります。また、地下鉄に起
因する騒音や振動が舞台に伝搬し、歌
舞伎役者に悪影響を与えないかとい
うことも、懸念事項の一つでした。

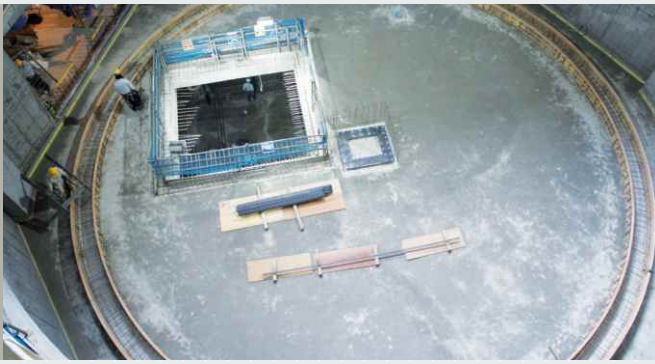
その日本一の廻り舞台の防振に、ヨーロ
ッパの鉄道や建築などで30年以上の実
績を持つ、弊社のポリウレタン防振材シ
ロマー(Sylomer®)が採用されました。

数百トンにもおよぶ廻り舞台の舞台機構
とコンクリートの浮床重量を受ける浮床
の底面にはシロマー(Sylomer®)SR28の
全面敷き、側面に関しては、地震時に舞
台と廻り舞台の間の所定のクリアランス
を保持するために、底面と比べて硬い
防振材を選定しました。また、工期の厳
しい中、国内の弊社加工工場での部材
プレカットと現場加工を併用し、一週間
程度という短時間で施工を終了するこ
とができました。

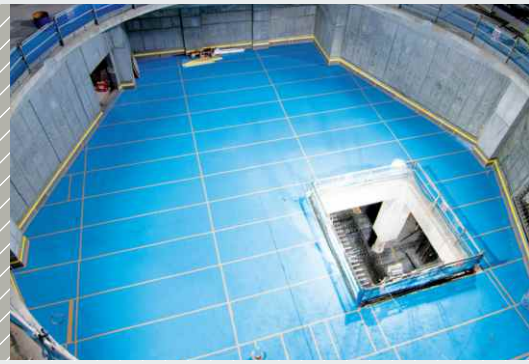
また、廻り舞台以外にも、屋上庭園・ラ
ウンジ・車路・機械室・立体駐車場など
で弊社のポリウレタン防振材を用いた
浮床が採用されています。



シロマー (Sylomer®) 1
層目の敷設



浮床コンクリート 打設後



シロマー (Sylomer®) 防振浮床 施工後

フィードバック

当プロジェクトに対するお客様のコメント

日 本を代表する伝統芸能である歌舞伎の殿堂である歌舞伎座建替えにおいて、新しい第五期歌舞伎座に性能や施工性に優れたポリウレタン防振材を採用しました。

伝統と最新技術の融合により、より良い音環境を得ることができました。

株式会社永田音響設計
取締役 プロジェクトチーフ
福地智子様



シロマー (Sylomer®)
2層目敷設時の接着剤塗布
ノロ止めのポリフィルム敷設





データ一覧

Ginza Kabukiza 新築工事

所在地:	東京都中央区銀座四丁目12番15号
発注者:	KSキャピタル特定目的会社, 株式会社歌舞伎座
開発業務受託者:	松竹株式会社
構造規模:	地上29階、地下4階、塔屋2階 ・ 鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
用途:	劇場、事務所、店舗、駐車場 他
延床面積:	約 93,530.40 m ²
最高高さ:	145.5 m
竣工:	平成25年2月28日
設計監理:	株式会社三菱地所設計 + 隈研吾建築都市設計事務所 による共同設計
劇場監修:	杉山隆建築設計事務所 今里隆
外観照明デザイン:	株式会社石井幹子デザイン事務所
音響設計協力:	株式会社永田音響設計
施工:	清水建設株式会社
音響工事:	日東紡音響エンジニアリング株式会社

ゲッツナー・ヴェルクシュトッフェ社 (Getzner Werkstoffe GmbH)

創設:	1969年 (Getzner, Mutter & Cie社の子会社として設立)
社長:	ユルゲン・ライナルター (エンジニア)
従業員数:	340名
売上 (2015年):	7,790万ユーロ
事業分野:	鉄道、建築、工業
本社:	ビュルス (Bürs)、オーストリア
営業拠点:	ベルリン (ドイツ)、ミュンヘン (ドイツ)、シュトゥットガルト (ドイツ)、リヨン (フランス)、アンマン (ヨルダン)、東京 (日本)、プネー (インド)、北京 (中国)、昆山 (中国)、シャーロット (米国)
輸出の占める割合:	85%

協力: 松竹(株)・(株)歌舞伎座

建築関係実績

- ナショナル・トレーニングセンター (体育館)
- パレスホテル (プール・チャペル)
- ペニンシュラホテル (プール・厨房)
- セントレジスホテル (フィットネス・機械室)
- パシフィコ横浜・会議センター (ホール)
- 東京アメリカンクラブ・スポーツセンター (プール・フィットネス・厨房)
- QVCジャパン (スタジオ)
- 凸版印刷 (輪転機)
- 国立音楽大学 (屋上防振)
- キリンビール横浜工場 (厨房・実験室)
- 愛知淑徳学園大学 (フットサルコート)
- 高地新聞 (輪転機)
- 墨田水族館 (機械室)
- 南山大学 (フットサルコート)
- 渋谷ヒカリエ (劇場)